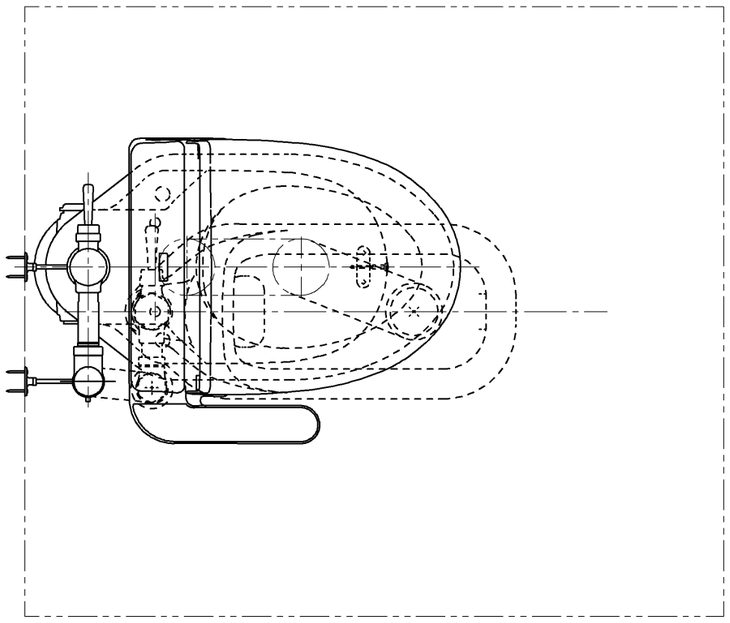
ＴＯＴＯ　和洋リモデル工法　参考レイアウト図

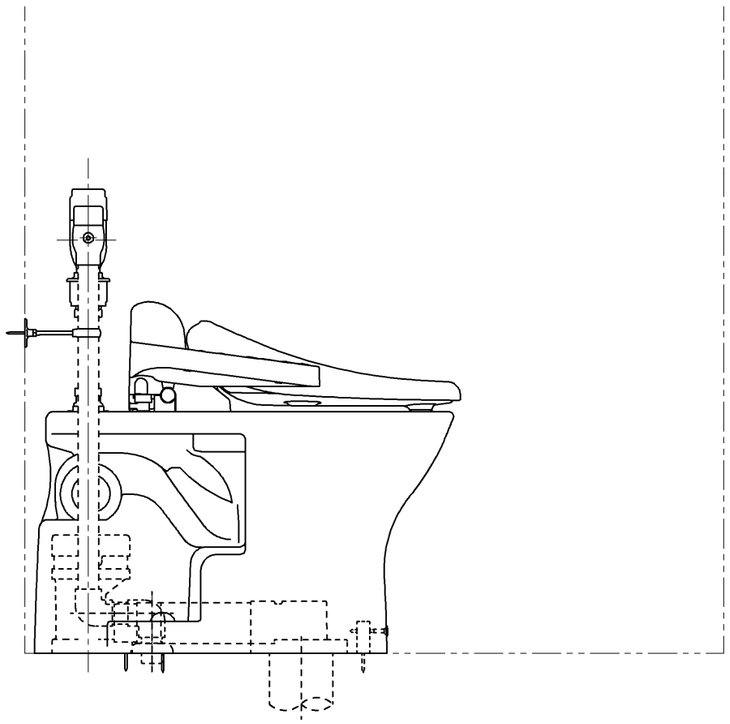
作成日：２０１６．０３．１０

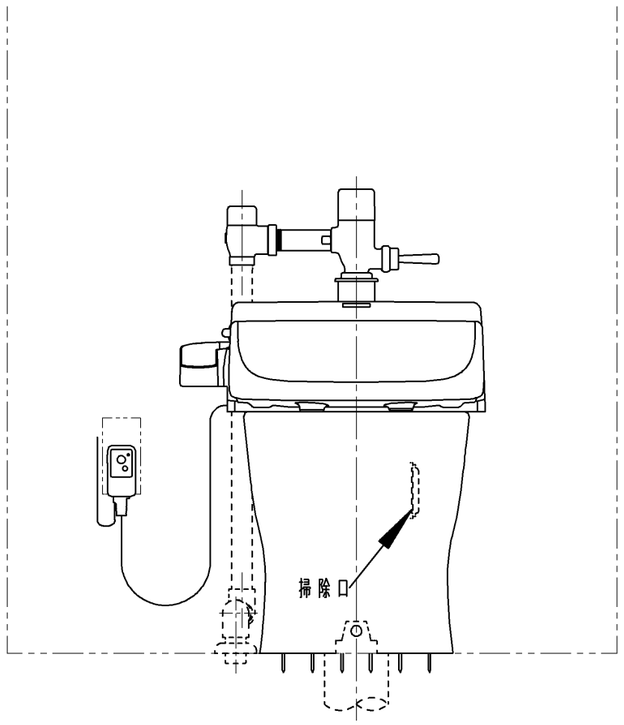
（洋風便器ＣＳ４９４Ｍ＋ウォシュレットＰ）



和洋リモデル工法における新設洋風便器のレイアウト上の制約条件

・既設和風便器排水心から新設洋風便器排水心までの偏心量が専用排水管の偏心量と同じであること。
・既設和風便器の給水立上げ位置が新設洋風便器に干渉しないこと。
・新設洋風便器の給水は既設和風便器の給水取出し位置から床上露出の一般配管で引き回せること。
　引き回した給水配管が新設洋風便器の使用時に影響ない位置であること。
・既存和風便器の給水がロータンク仕様の場合、新設洋風便器もロータンク仕様とすること。
　（既設和風便器がロータンク仕様の場合、新設洋風便器はフラッシュバルブ式には出来ません。）
・既設トイレブース扉が内開きの場合、扉が新設洋風便器に当たらないこと。
　レイアウト上どうしても当たる場合は、扉の開き勝手を外開きに変更すること。
　その際は、ブース外側の通路状況にも配慮すること。
・新設洋風便器前面からトイレブースまでの寸法を３５０ｍｍ以上確保を推奨する。
・使用者がブースに出入り可能で、問題なく使用できること。





洋風便器のレイアウト例－１（和風便器と平行設置の場合）

（洋風便器ＣＳ４９４Ｍ＋ウォシュレットＰの場合　Ｓ＝１／１０）